

令和2年7月22日

静岡県社会部 各報道機関 御中

国立大学法人静岡大学長
石井 潔

静岡大学東部サテライト開所式について

本学では、大学の地域貢献力をより高めるために、持続可能で多様性に満ちた未来社会の構築を目指した、分野横断的な教育研究を推進する上での核となる組織として本年4月に「未来社会デザイン機構」を設立しました。

さらに本年7月、東部地域における教育・研究・産学連携の拠点として、伊豆市サテライトオフィス内に「東部サテライト」を設立し、令和2年7月29日（水）に東部サテライト開所式を以下のとおり挙ります。

つきましては、未来社会デザイン機構のリーフレットを添付いたしますので、当日は是非ともご取材いただき、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願い申し上げます。

【日時】 令和2年7月29日（水）11時00分～11時40分（受付10時30分～）

【会場】 静岡大学東部サテライト（伊豆市青羽根65番地の1）

【式次第】

- 開式の辞 静岡大学未来社会デザイン機構長 丹沢 哲郎
- 学長挨拶 静岡大学長 石井 潔
- 来賓紹介 (来賓) 伊豆市長 菊地 豊氏
静岡県特別補佐官 土屋 優行氏
静岡県東部地域局長 山本 東氏
静岡県賀茂地域局長 山口 武史氏
三余農園 土屋 直彦氏
- 来賓祝辞 伊豆市長 菊地 豊氏
静岡県特別補佐官 土屋 優行氏
- テープカット
- 閉式の辞 静岡大学未来社会デザイン機構副機構長 小山 真人

【参考】 伊豆市サテライトオフィス利活用企業等誘致推進事業

http://www.city.izu.shizuoka.jp/gyousei/gyousei_detail008559.html

お問い合わせ先

静岡大学学務部地域連携推進課

電話番号 054-238-4055 FAX番号 054-238-4428

メールアドレス kyouiku-renkei@adb.shizuoka.ac.jp



地域

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

大学



静岡大学
未来社会
デザイン
機構



静岡大学が変わる、地域社会が変わる一。



創設理念

私たちは対話を通して、社会の多様なステークホルダーと相互理解を深め、パートナーシップを築きます。望ましい未来社会について、共にビジョンを描き、そこから具体的な課題を明らかにし、その解決のために協働します。持続可能な社会とすべての人のウェルビーイングを目指して、未来社会のデザインに挑戦します。

暮らしの「豊かさ」を表わす指標は、どこに求められるのでしょうか。第二次世界大戦後の世界では、「国内総生産GDP」がその答えであるという前提のもと、長い間、経済成長を最優先する政策が採られてきました。しかし、ある社会における人びとの暮らしや境遇は多様です。経済成長は、すべての人に等しく恩恵をもたらすわけではありません。豊かな社会とは、一人ひとりがよい暮らしや幸福・福祉(ウェルビーイング)を享受できる社会であるはずで、こうした認識とともにグローバル社会では、一人ひとりのウェルビーイングの達成を目的とする「人間開発アプローチ」が主導的な位置を占めるようになってきました。

しかし人口増加が続く限り、一人ひとりのウェルビーイングを実現すると、環境に対する負荷もそれだけ大きくなります。2050年には、世界人口が98億人に達すると推計されています。「地球の限界」に対する適正な評価と配慮を欠けば、現代によるウェルビーイングの追求は、将来世代から、その可能性を奪ってしまいます。大切なことは、世代間の公平性を担保しつつ、一人ひとりのウェルビーイングを実現することです。「持続可能な開発」という考え方は、このような洞察に支えられています。

私たちが直面する課題は多岐にわたります。第一に、地球温暖化、生物多様性の喪失、自然災害の激甚

化に示される、環境や生活の急速な変化が挙げられます。第二に、水、エネルギー、食料などの資源へのアクセス、また南海トラフ地震やパンデミック等のリスクへの対応といった生存に直結する課題があります。第三に、平和、健康、教育、雇用、格差(貧困)、社会的公正、ダイバシティ、金融・経済危機など、社会や経済のあり方にかかわる重要な課題が控えています。日本社会では、人口の減少と高齢化が同時に進行し、多くの地域社会が危機的な状況を迎えています。

ここで大切なことは、これらグローバルで複雑な問題群を「システム」と捉え、統合的な思考のもと解決へ導くことです。社会の多様なステークホルダー(自治体、NPO法人、市民団体、企業、自営業者など)とパートナーシップを結ぶことで、互いの情報、経験知、専門知、技術、資金などを持ち寄り、共有することが可能になります。IoT技術と人工知能(AI)に基づいて知識や情報を広く共有すれば、一人ひとりのウェルビーイングに資する価値創造やイノベーションが実現されるでしょう。

私たちは持続可能な社会とすべての人のウェルビーイングを目標に、多様なステークホルダーと対話を進め、共創的なパートナーシップを確立し、未来社会を共にデザインします。



基本方針

地域のみなさん



1 バックキャストによる
未来社会のデザイン
活動の目指す先、
未来の地域像を
地域と共に描きます



2 多様なステークホルダーとの
パートナーシップ
対等な関係で想いを
共有する「対話の場」
を大切にします



3 分野横断的なチーム単位で
持続可能な事業を展開する
「オール静大」!
大学中の知恵を集め
課題の解決にあたります



静岡大学 未来社会デザイン機構

静岡大学東部サテライト「三余塾」の設置

伊豆半島の中央部、伊豆市に静岡大学東部サテライト「三余塾」を設置します。「三余塾」は幕末期の伊豆松崎に土屋三余が開設した塾で、明治日本を支えることになる多数の人材を育てました。三余塾の精神を受け継ぎ、その名を東部サテライトの副称とします。教職員が常駐し、東部地域の拠点として次の3つの「場」としての機能を備えています。

■協働のパートナーを見つける場

「人と人」、「ニーズとシーズ」、「プロジェクト同士」を結びます。

■学びの場

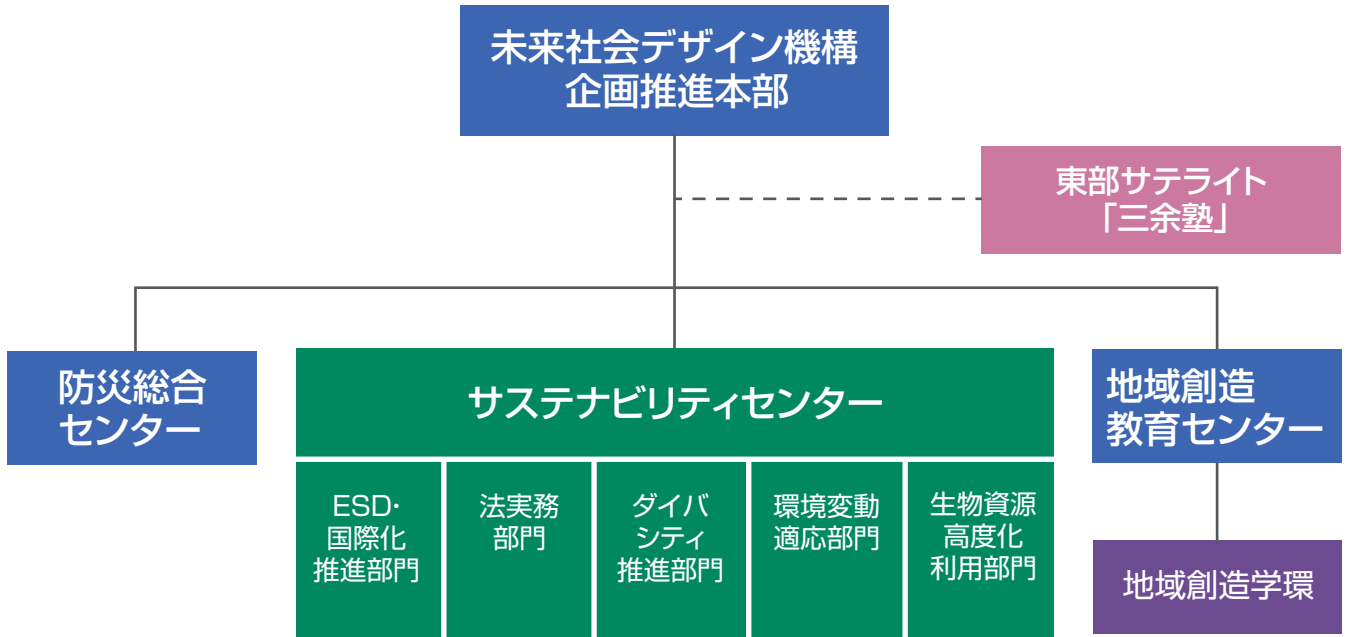
市民や小中高生に対する公開講座を定期的で開催します。地域づくりに役立つ講座も提供します。

■情報を得る場・仲間に会おう場

新しい出会いや自由な対話があり、出かけやすく居心地のよい場所です。



組織図

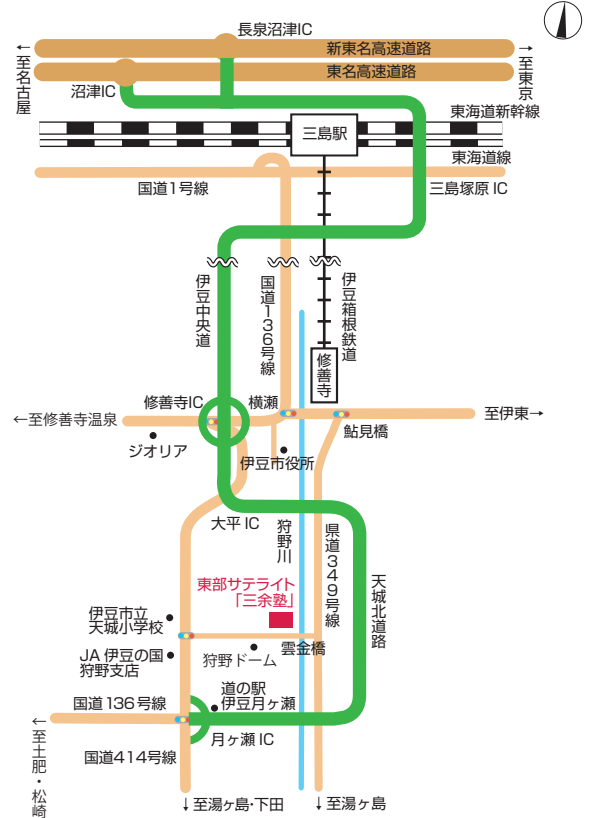


アクセス

■静岡大学静岡キャンパス



■静岡大学東部サテライト「三余塾」



静岡大学未来社会デザイン機構

Organization for Designing Future Society, Shizuoka University

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4055 FAX: 054-238-4428

E-mail: mirai-shakai@adb.shizuoka.ac.jp

https://future.shizuoka.ac.jp



HPIはこちら

東部サテライト「三余塾」

〒410-3213 伊豆市青羽根65-1

TEL: 0558-79-3500

FAX: 0558-79-3201

E-mail: mirai-tobu@adb.shizuoka.ac.jp